

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成23年9月19日（月）～9月25日（日）〔平成23年第38週〕の感染症発生状況

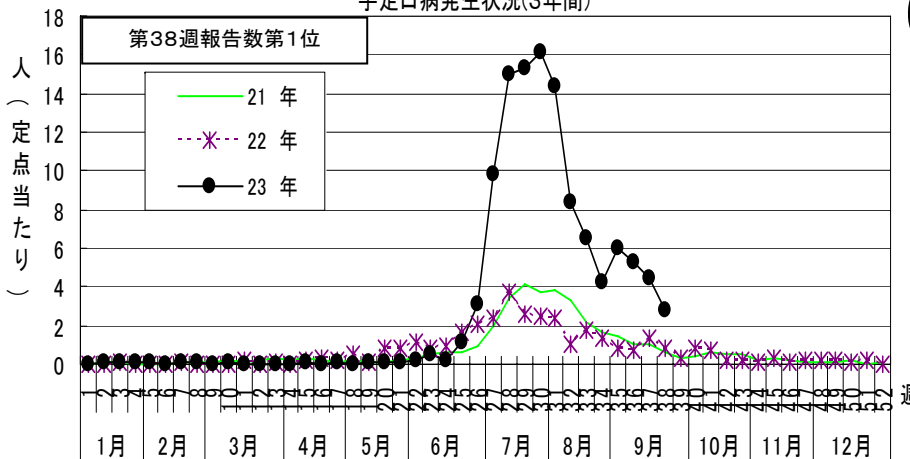
第38週で定点報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。

手足口病は定点当たり2.82人と前週（4.48）より患者報告数は減少しましたが、過去10年間の同時期と比較すると、今年は最も多い報告数となっているため、引き続き予防対策の徹底が重要です。

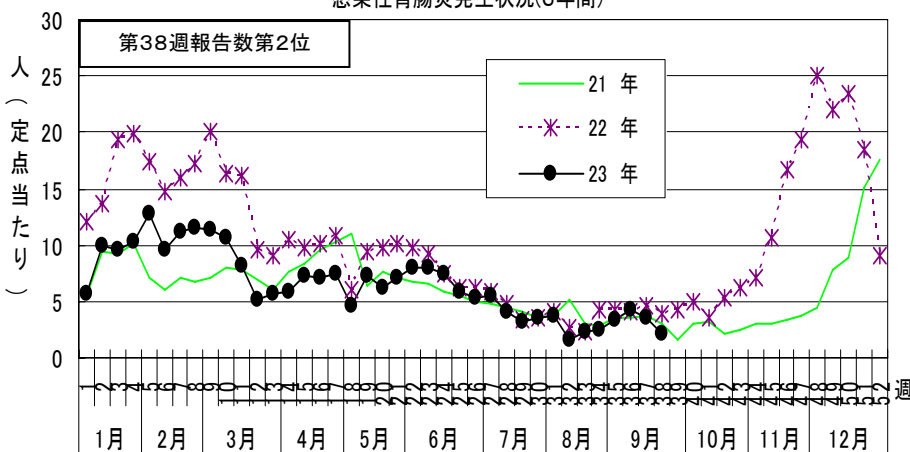
感染性胃腸炎は定点当たり2.12人と前週（3.52）より患者報告数は減少しており、例年よりも低いレベルで推移しています。

細菌性赤痢の発生届が1件（推定感染経路：経口感染、推定感染地域：インドネシア）ありました。

手足口病発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



「体がだるい?」「咳が治らないの?」それって結核かも…

日本は、世界の中で結核の「中まん延国」であり、今でも1日に66人の新しい患者が発生し、6名が命を落としています。川崎市は、全国平均よりも患者発生数が多く、今年で計327名の患者が報告されています。結核を他人事とせず、もう一度、この結核予防週間（9月24日から9月30日まで）に勉強しましょう。

結核は空気感染する病気！！

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。

患者がせきやくしゃみをしたときに、空気中に飛び散る「しぶき」に含まれる結核菌を周りの人が直接吸い込むことによって感染します。これを「空気感染」といいます。

こんなときは医療機関へ！！

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。風邪かなと思う次のような症状が長く続くようなら、結核を疑って早めに医療機関へ受診してください。

1. せきが2週間以上続く
2. タンがでる
3. 体がだるい
4. 急に体重が減る

せき・くしゃみがあるときは、口や鼻をおいましょう！
せきエチケット



感染したらどうなるの!? 予防方法は?

結核に感染しても、発病するのは10人中1～2人です。また、発病してもきちんと薬を服用すれば結核は治ります。早期発見は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。

乳幼児への結核発病予防には、BCG接種が有効です。また、十分な睡眠・適度な運動・バランスのとれた食事など免疫力を高めておくことも大切な予防方法です。

最近、若い世代における結核の集団感染事例及び働き盛り世代の発見の遅れが問題になっています。これらは、次の世代に結核を残す原因となります。

